

TOTO

壁掛手洗器 (角形)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	禁止 は、してはならない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。		必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
--	--	--	---

注意	
	手洗器にかたい物を落とさない 手洗器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	手洗器にぶら下がったり乗ったりしない 手洗器や固定部が破損してけがをするおそれがあります。
	手洗器に熱湯を注がない 手洗器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

注意	
	凍結のおそれのある場合は、水周囲の温度が氷点下にならないようにする 水栓が凍結すると部品が破損したり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。配管部などには保温材を巻いてください。凍結による破損は保障期間内でも有料修理となります。

使用条件	
使用水圧の確認	給水・給湯圧力 { 最低必要水圧(流動時)・・・0.05MPa 最高水圧(静止時)・・・0.75MPa
	40℃以上の湯は使わない 器具が破損して、けがをするおそれがあります。
	固定部の締め付けは、電動ドライバーを使用しない 電動ドライバーなどの工具を使用すると、手洗器固定部が破損し正常な取り付けができなくなる可能性があります。

同梱部品

■部品があるか、下記を参照して確認してください。

ブラケット本体			
(1個)			
固定金具類			
丸タッピンねじ (φ5.8×50:4本)	ワッシャー (2枚)	ゴムブッシュ (2個)	型紙 (1枚)
トラス小ねじ (M5×35:2本)	クッション材 (1個)	施工説明書 (1部)	
フックハンガーセット			
フックハンガー (1個)	トラスタッピンねじ (φ5×35:1本)		

※排水金具・水栓金具・手洗器本体・バックパネルは別梱包です。

取り付け前のご注意

給・排水管位置の確認
施工前に、給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置にあることを確認する。

(単位: mm)

完成図

(単位: mm)

注意	
	手洗器を固定する壁にt12mm以上の合板で補強を行う 手洗器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
注意	●排水位置はボルトトラップと一般トラップで異なるので注意してください。 ●取付基準線は手洗器の中心線ではないので注意してください。 ●バックパネル上部に棚や窓枠などを設置する場合には、バックパネルの取り付け・取り外しを行う空間として35mm以上を確保してください。(容易に取り外せる鏡などは除く)

取付方法

1 止水栓の取り付け

止水栓に同梱の説明書に沿って取り付ける。

2 ゴムブッシュの取り付け

注意	
	ゴムブッシュ・排水金具などの取り付けで手洗器表面を下側に向ける際は、ダンボールなどを敷き手洗器に傷が付かないようにする 手洗器が破損したり、傷が付くおそれがあります。

陶器にゴムブッシュを挿入する。(2カ所)
※トラス小ねじで押すと容易に挿入できます。

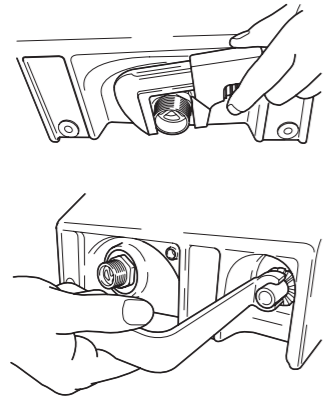
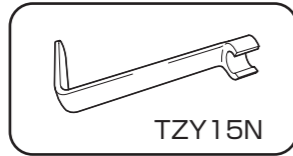
ゴムブッシュ (2カ所)
トラス小ねじ (M5×35)

※ゴムブッシュが挿入できたら、トラス小ねじは外してください。

3 金具の取り付け

手洗器に給水金具・排水金具を取り付ける。

※給水金具の締め付けには専用工具 (TZY15N) をご使用ください。



注意

排水金具に同梱の説明書に沿ってシール処理を実施してください。

5 固定ブラケットの取り付け

①排水管心に型紙をあわせ、ブラケット本体固定穴A(2カ所)に下穴をあける。

※型紙の取付基準線を用いて垂直になるように十分注意してください。

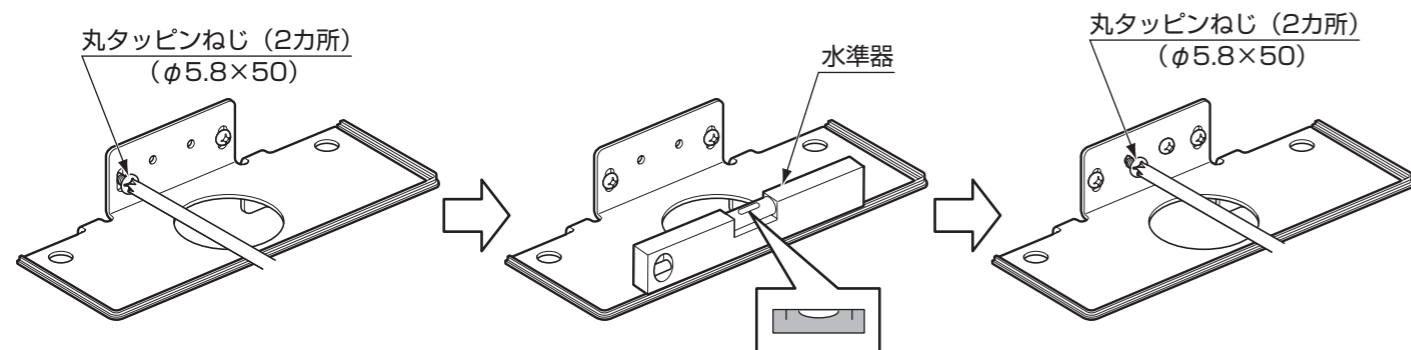
※床排水の場合は、型紙を参照し、ブラケット本体固定穴A(2カ所)に下穴をあけてください。

注意

排水位置はボトルトラップと一般トラップで異なりますので、同梱の型紙を使って取り付けてください。

②ブラケット本体固定穴A(2カ所)を丸タッピンねじで仮固定し、水準器を用いてブラケット本体の水平を確認する。

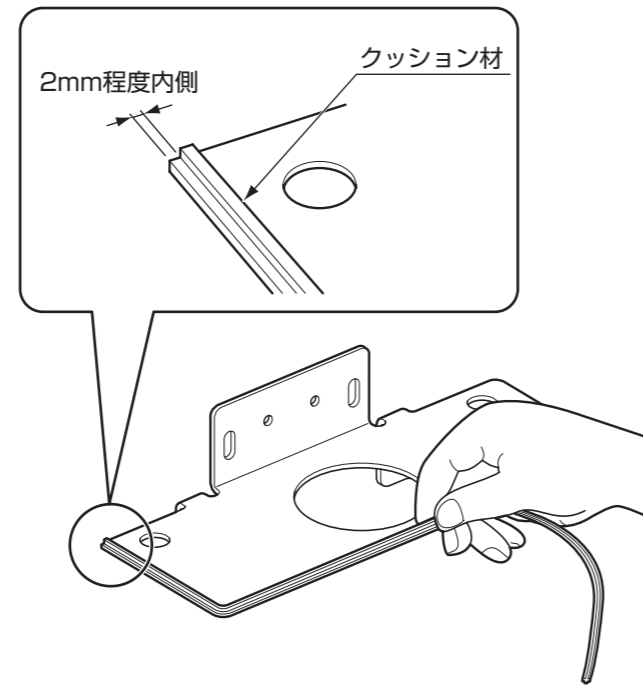
※水平を確認したあと本固定し、取り付けたブラケット本体上側の固定穴(2カ所)を丸タッピンねじで本固定してください。



4 クッション材の貼り付け

ブラケット本体の縁から2mm程度内側にクッション材を貼り付ける。

※このとき、クッション材は引っ張らないように注意してください。



6 本体の取り付け

注意

❌ 電動ドライバーは使用しない
電動ドライバーなどの工具を使用すると、手洗器固定部が破損し、正常な取り付けができなくなる可能性があります。

⚠️ 必ず実行
トラス小ねじはかたくなるまでしっかり締め付ける
締め付けが不十分な場合、手洗器が破損して、けがをするおそれがあります。

①陶器背面の固定穴にフックハンガーを掛ける。

※フックハンガーを指で押さえながら陶器をブラケット本体に載せてください。

②陶器を後壁に密着させ、またブラケット本体に左右均等に載るように位置を調整し、トラス小ねじでしっかり2カ所を固定する。

③フックハンガーをトラスタッピンねじで壁にしっかり固定する。

注意

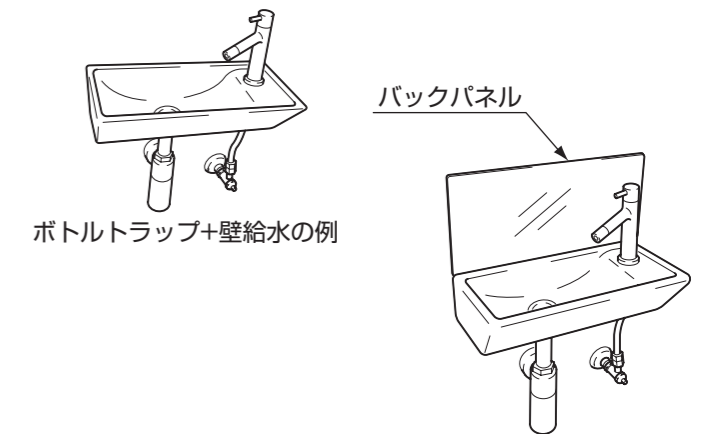
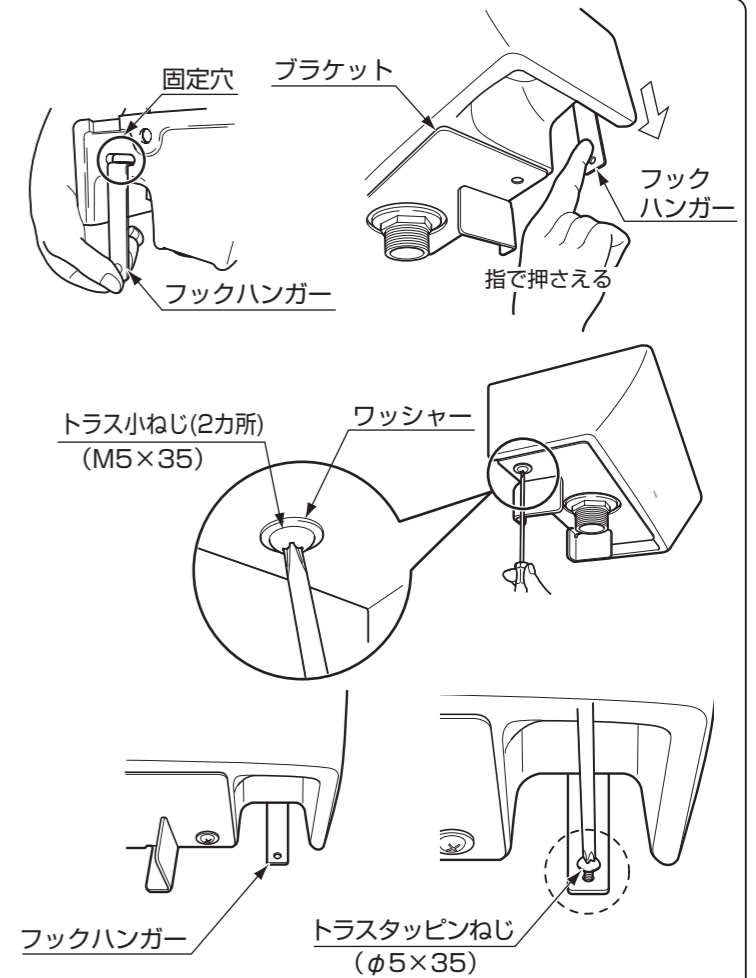
必ず陶器を固定したあとにフックハンガーを固定してください。

④給水金具および排水トラップを接続する。

⑤壁に固定金具をビス固定し、バックパネルを固定する。

注意

バックパネルに同梱の説明書に沿って取り付けてください。



7 取り付け完了後の確認

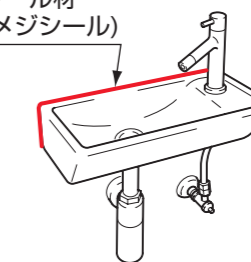
①防カビ性のシリコン系シール材(メジシール)で充てんしてください。

②通水確認を実施し各接合部より水漏れがないことを確認してください。

バックパネルなしの場合

・手洗器上面と側面

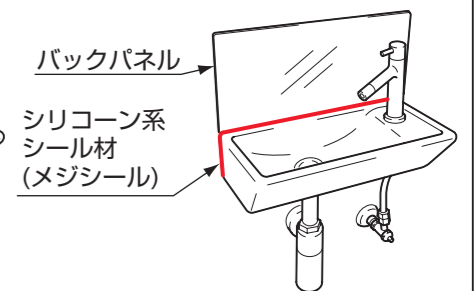
シリコン系シール材(メジシール)



バックパネル有りの場合

・手洗器側面とバックパネルの間

シリコン系シール材(メジシール)



※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。